

TG	461000			
	担当部署			
TG	生化			
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項	特記事項なし			
オーダリング手順	1 電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2 電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報	特記事項なし			
検査受付時間	8:15~16:00			
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項	食事による影響がある為絶食での採血が望ましい。			
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10青	分離剤	8	mL
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件	室温			
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間	冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		M:40-234mg/dL F:30-117mg/dL 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲			
臨床判断値		設定なし			
基準値				単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	40	234	30	117
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		食後 2-6 時間は食事の影響を受ける。アルコール類と脂肪を同時に摂取すると 12 時間以上経ても TG 値は 2 倍以上増加する。運動により変動し、個人差、日差変動が大きくその幅は 100mg/dL になることもある。 食習慣や人種により差がみられ、欧米人は日本人より高値である。			
臨床的意義		トリグリセリドは、脂質代謝異常の推定と診断、治療方針の決定、予後判定などに必要である。高コレステロール血症、糖尿病、肥満、インスリン抵抗性症候群など冠動脈硬化の危険因子として、診断や治療方針を得るための検査である。 日本臨床第 7 版 2.32,2009			